

平成30年度 学校評価 学校関係者評価書

学校名	北海道札幌北高等学校
-----	------------

組織名	学校評議員会
評価者	H31.2.15 学校評議員 5名

1 本年度の重点目標

- 生徒一人一人の志望を大切に、その実現への援助に努める。
- 特別活動の充実に努め、21世紀を担うリーダーとしての社会的資質を高める。
- 教師自ら新しい学びの開発に向けた資質の向上を目指すとともに、学校課題を共有し、協力して課題解決に当たる。
- 積極的な情報発信と説明責任を果たすことにより、保護者との連携を深め、地域社会の信頼に応える学校を目指す。
- 学習指導要領の改訂及び大学入学共通テストの実施に向けて研修を深めるとともに、実践を重ね共有する。

重点目標の適切さ

2 自己評価結果及び自己評価結果に対する学校関係者評価

※各評価者の評価を並記

分野・領域	評価項目・指標等 評価項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の結果 内容の適切さ	取組の適切さ	今後の改善 方策の適切さ
学校運営に係ること	北高教育の継承や将来の方向性が共有されているか。	B	B	本校教育の方向については保護者・教職員とも評価は高い。今後より高いレベルを求めて教育活動を推進する。学校課題の解決に向けたユニット制などの校内体制が機能しており、今後も継続する。働き方改革は、道教委の動向を踏まえて次年度の取組を推進する。	A,B,B, A,-	A,B,A, B,-	A,B,B, A,-
	学校教育目標の達成に向けた校内体制は適切であったか。	A	A				
	校務分掌等の校内人事配置は適切に行われたか。	B	B				
	教職員間、教職員と管理職間の対話が推進され、協働意識が形成されたか。	B	B				
	教職員の働き方改革に関わる取組について、適切に推進されたか。	C	C				
評価者の意見等	教育者子どもたちを取り巻く環境の変化のなかで、本校の教職員はよくやっていると評価をいただいた。働き方改革について、次年度はしっかり取り組み、教職員がよりよい働きができるよう望むとの意見があった。						
学習指導に係ること	生徒の進路志望の実現にふさわしい教育課程が編成されたか。	A	A	新学習指導要領による教育課程の編成を進める。授業改善については、指定事業を通して本校に蓄積された「ブレインズ・オン」の考え方を基に、次期学習指導要領や大学入試改革の動向を踏まえながら推進する。	A,A,A, A,-	A,A,A, A,-	A,A,A, A,-
	主体的・対話的で深い学びに係る取組が組織的に行われたか。	B	A				
	教科指導の組織的な創意工夫により、生徒の学習意欲向上がなされたか。	B	B				
	高大連携に関わる取組は適切に行われたか。	B	B				
評価者の意見等	引き続き子どもたちを伸ばす学習指導を継続してほしいとの意見があった。						
生徒指導・いじめの問題への対応に係ること	生徒理解のための面談や教育相談が組織的に行われたか。	A	A	教育相談や生徒会活動はこれまでの取組を継続する。いじめについては年度始めに基本方針を周知するとともに、クラス内の生徒の人間関係等を把握する調査などを活用して未然防止に努める。	A,B,B, A,-	A,B,B, A,-	A,B,B, A,-
	生徒会活動や学校行事を通じて自主・自立の精神が養われたか。	B	B				
	いじめの問題に対する基本方針が適切に示されているか。	A	A				
	いじめの未然防止や発生時の対応は適切に行われたか。	B	B				
評価者の意見等	概ね適切であるとの評価をいただいた。						
進路指導に係ること	生徒一人一人の進路目標達成に向けた支援が組織的に行われたか。	B	B	保護者に発信する進路情報の内容については、生徒の進路希望状況を踏まえて工夫していく必要がある。	B,A,B, A,-	B,A,B, A,-	B,A,A, A,-
	生徒の進路決定など進路指導に関する情報提供が適切に行われたか。	B	B				
評価者の意見等	進路指導はきめ細かく行われていると思うが、それを受け取る生徒の立場を常に意識して改善を図る必要があるとの意見があった。						
健康・安全指導に係ること	校内の危機(事件・事故等)管理体制は整備されたか。	B	A	施設設備については引き続き道教委に予算の確保を求め、トイレは業者による特別清掃を計画的に実施する。	B,B,B, A,-	B,B,B, A,-	B,B,B, A,-
	校舎・校地の環境は適切に維持されたか。	B	B				
評価者の意見等	施設設備・トイレ等の使用については、生徒に対して大切に使用できるよう指導することが必要と思うとの意見があった。						
信頼される学校づくりに係ること	日常の教育活動や生徒の様子についての情報提供など学校広報活動は適切に行われたか。	C	B	学校WebページをNetcommonsベースに転換し、情報発信を増やすなど、広報の充実を図る。	B,B,B, A,-	C,C,B, A,-	C,B,B, A,-
	保護者からの相談や連絡に対して誠意を持った適切な対応が行われたか。	B	B				
評価者の意見等	学校評価アンケートで「わからない」という回答が多い項目について、学校からの情報発信を適切に行う必要があるため、環境整備を終えた後の次年度の情報発信の充実について期待したいとの意見があった。						
その他	本校に対する満足度(保護者)	B	A	保護者の満足度はとても高いが、そう思わない保護者の意見を一層の改善に生かす。	A,A,A, A,-	A,A,A, A,-	A,A,A, A,-
評価者の意見等	特記事項なし						

A: 十分である。適切である。 B: ほぼ十分である。概ね適切である。 C: やや不十分である。やや不適切である。 D: 不十分である。不適切である。

3 次年度以降の目標設定等に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

- 保護者アンケートの「日常の教育活動や生徒の様子についての情報提供」において否定的な評価の回答が15%程度あることから、保護者に対する広報活動としての学校Webページを改善し、充実を図る。
- 保護者アンケートのいじめの未然防止等に対する取組に係る項目において「わからない」との回答が20%程度と、昨年の30%程度からは改善されたが、いじめに対する基本方針やアンケートなど取組の状況について、引き続き丁寧に情報発信を行う。
- 保護者アンケートにおいて進路指導に係る保護者への情報提供については否定的な評価の回答が10%を超えていることから、保護者が求める情報を適切に把握し、進路説明会やPTA総会、進路ニュースなどをその内容を見直す。

評価者の意見等

特記事項なし